

## 令和3年度河内採択地区教科用図書採択協議会議事録（議事要旨）

令和3年7月15日（水）午前9：00～  
宇都宮市教育センター コミュニティホール

### 【出席委員】

小堀茂雄会長，氷室清副会長，檜山昌彦委員，吉田由美委員  
福田治久委員，森山浩行委員  
（小学校）半田文男委員，渡辺恭子委員  
（中学校）加藤悦宏委員，藤田正義委員

### 【事務局】

事務局長（宇都宮市教育委員会事務局学校教育課長，宇都宮市教育委員会教育センター所長），事務局次長（宇都宮市教育委員会事務局学校教育課指導グループ係長，宇都宮市教育委員会教育センター相談グループ係長），書記（宇都宮市教育委員会事務局学校教育課指導主事，宇都宮市教育委員会教育センター指導主事，上三川町教育委員会事務局教育総務課指導主事） 計18名

### 【傍聴者】

0名

### （第1日）

#### 1 開会

#### 2 協議会委員紹介

#### 3 会長あいさつ

#### 4 日程説明

事務局が，令和4年度使用教科用図書採択事務における日程について説明した。

#### 5 議事

##### （1）報告事項

- ① 河内採択地区教科用図書採択協議会規約について
- ② 令和3年度教科用図書採択事務について
- ③ 令和4年度使用教科用図書の採択の基本方針について
- ④ 調査研究における観点について
- ⑤ 特別支援学級用教科用図書等について

##### （2）選定協議及び採決

- ① 小学校 特別支援学級
- ② 小学校 特別支援学級の採決
- ③ 中学校 特別支援学級
- ④ 中学校 特別支援学級の採決
- ⑤ 中学校 歴史
- ⑥ 中学校 歴史の採決

#### 6 事務連絡

事務局が教科書採択に係る今後の日程等について連絡した。

#### 7 閉会

# 教科用図書採択協議会の要旨

(中学校用)

◇ 社会（歴史的分野）

## 1 種目 社会（歴史的分野）

### 2 選定協議

調査研究の対象となった教科用図書1種1点の調査結果及び、昨年度の調査結果について報告し、閲覧したのち、協議を行った。（「参考1」，「参考2」参照）

### 3 採択協議会における主な協議内容（「⇒」は、説明員の回答）

- ・ 教科横断的な視点からすると、今年度使用している東京書籍の教科用図書については、他教科との関連が図られているが、自由社の教科用図書は他教科との関連が十分とは言えない。深い学びに資するという点からも東京書籍がよいのではないかと思う。
- ・ 自由社の教科用図書について、歴史を含めた近隣諸国との関係性などに関する記述に問題はないのか、説明願う。  
⇒ 文部科学大臣の検定を通過しており、学習指導要領に示された目標や内容からも、近隣諸国との関係性を含めて問題はないものと考えている。
- ・ 自由社は、文化に関する資料が充実している。東京書籍は、世界史に関する内容が充実しており、多種多様な生徒が興味・関心をもてるような工夫がされている。

### 4 採択協議会における選定結果（「参考1」「参考2」参照）

(1) 選定した発行者（東京書籍）

(2) 主な理由

- ・ 本書は、1単位時間の学習課題と振り返り活動が設定されるとともに、各章の初めに導入の活動や探究課題と探究のステップが明示され、主体的に学習できるよう工夫されている。
- ・ また、本文と資料の関連性が適切であり、資料の番号を本文に記載して関係が分かりやすくなるよう工夫されている。
- ・ さらに、「もっと歴史」において、地理や公民的分野との関連とともに、他教科の教科書の単元名が明記されており、持続可能な社会の実現に向けて、横断的な学習に取り組むことができるよう工夫されている。

# 教科用図書採択協議会の要旨

(小・中学校特別支援学級用)

◇ 小学校

◇ 中学校

## 1 種目 小学校特別支援学級 学校教育法附則 9 条図書

### 2 選定協議

#### (1) 調査報告

調査研究の対象となった3種3点について、調査員4名で調査し、その結果を調査研究資料により報告した。(「参考3」参照)

#### (2) 図書閲覧

調査研究を行った全ての図書を採択協議会委員が閲覧し、調査研究および報告に対する確認を行うとともに、選定について検討を行った。

### 3 採択協議会における主な協議内容

- ・ 「絵でわかるこどものせいかつずかん4 おつきあいのきほん」において、学習指導要領の中で取り扱われていない内容については、どのように考えるか。  
⇒ 直接取り扱われていない「主として生命や自然、崇高なもののかかわりに関すること」のうち、「感動・畏敬の念」の内容についても、自分のことを話す、手紙で誰かに伝えるなどの場面において、発展的にその内容を含むことは可能である。
- ・ 特別支援学級の子どもたちには、いろいろなことを経験させたいと思うが、内容が偏ったものが教科書であると、学びの保障が十分ではないと感じる。
- ・ 今回の調査研究において、3つの教科が選ばれた理由はどのようなものか。  
⇒ 本年度、県で新たに調査研究された理科、図画工作について独自に調査研究を行うとともに、前回採択されてから4年が経過する道徳について改めて調査研究を行ったため、3つの教科となっている。

### 4 採択協議会における選定結果

#### (1) 「こどものずかん Mio 1 2」

- ・ 結果：  選定しない
- ・ 理由： 児童が学んだことを活用し、実生活に結びつけることが難しく、季節や自然に関する内容に限定されているため、理科の目標を達成するには、内容が不十分である。

#### (2) 「5回おったらできあがり！！はじめてのおりがみ」

- ・ 結果：  選定しない
- ・ 理由： 折り紙の折り方は紹介されているが、創造的な発想や構想をする発展的な学習活動につながりにくく、学習指導要領に示されている鑑賞や立体に表す内容が不十分である。

#### (3) 「絵でわかる こどものせいかつずかん4 おつきあいのきほん」

- ・ 結果：  選定する
- ・ 理由： 学習指導要領に示された内容についてほぼ記載されているとともに、文字がなくても分かりやすいイラストが多く用いられていて、興味・関心や児童の能力差に応じた指導をすることができる。

1 種目 中学校特別支援学級 学校教育法附則 9 条図書

2 選定協議

(1) 調査報告

調査研究の対象となった2種2点について、調査員4名で調査し、その結果を調査研究資料により報告した。(「参考4」参照)

(2) 図書閲覧

調査研究を行った全ての図書を採択協議会委員が閲覧し、調査研究および報告に対する確認を行うとともに、選定について検討を行った。

3 採択協議会における主な協議内容

- ・ 「こどもの衛生学」は、保健体育の教科書としては、内容がすべて網羅されていないため、やや偏りが見られる。
- ・ 「こども植物研究所」について、県が調査研究を行った理由は知らされているか。  
⇒ 理由については把握していない。

4 採択協議会における選定結果

(1) 「こどもの衛生学」

- ・ 結果：
- ・ 理由： 身近なテーマが取り上げられているが、内容がやや専門的であり、衛生学に関する内容に限定されているため、保健体育の目標を達成するには、不十分である。

(2) 「こども植物研究所」

- ・ 結果：
- ・ 理由： 身近な植物や野菜などに関する内容に限定されており、「材料と加工の技術」や、「情報の技術」などの内容が取り上げられていないため、技術の目標を達成するには、不十分である。